

065 江戸時代 幕府の朝廷統制

幕府は天皇の権威を高めることに努めた。
天皇から将軍に任命された幕府の権威強化になるため。

① 後陽成天皇、弟の^{とし}智仁親王へ譲りたい。
→ 幕府の意向で後陽成天皇の長男である
後水尾 天皇 に譲位。

※ 幕府「変な順で即位すると天皇の権威低下に繋がる」

② 1615 年 禁中並公家諸法度
あ 豊臣家滅亡 の翌月
い 京都五山の 以心崇伝 起草

第1条…天子諸芸能の事、第一 学問 也。
学問…『貞観政要』『樵談治要』(帝王学)
…順徳天皇の著『禁秘抄』
…天皇のあり方を天皇が書いた有職故実の書。
幕府は天皇に対して、
① 「国家儀式を滞りなく遂行する儀式能力」
② 王としての自覚、ふるまいを求めた。
③ 政治権力を行使するのはだめ。

第2条…関白は親王より上である。
※ 1180 年に 以仁王の令旨 で平家追討開始。
※ 1331 年に後醍醐が隠岐に流罪で動けない間、
倒幕を命じた 護良親王の令旨 が出た。

第11条…関白と武家伝奏に逆らった者は
流罪。
幕府は関白の権限を拡大して親王より上
とした。摂関家と幕府は蜜月関係に。

③ 武家伝奏 の設置(2 名)
大納言以上の 公卿 を兼務。
幕府と朝廷の連絡役。太政官の一員。
公卿だが 幕府から役料 支給。
朝廷で必ず幕府側に立って発言。
就任時に 京都所司代 に血判状を提出。

④ 秀忠の娘 和子 を後水尾天皇に嫁が
せる。皇族と婚姻できる武家は徳川家限定

※ 後水尾天皇、和子と婚姻前に私生児発覚
→ 徳川秀忠、諸大名に軍役動員を發して
30 万の大軍を率いて京都制圧
ちなみに関ヶ原の東軍9万7千、大坂の役15万、豊臣7万

※ 天皇には高僧に 紫衣 を綸旨で勅許権。
紫衣を、どの高僧に与えるかを決めるのは
幕府が禁止したい天皇の政治権力(賞罰権)行使
に事実上あたるではないか。
→ 公家諸法度で「みだりに与えてはいけない。」

天皇の行動は、江戸時代の間ずっと幕府と蜜月
だった関白と、幕府の手先の 武家伝奏 を
通して統制できた。

紫衣の勅許権は、公卿の合議を通さずに
天皇秘書官の 蔵人頭 経由で出すものなので、
関白や 武家伝奏 を通した統制不可能。

⑤ 紫衣 事件
あ 林下・大徳寺の僧 沢庵 に、紫衣を
後水尾 天皇 が綸旨で勅許した。
綸旨は関白も武家伝奏も附けない。
い 將軍 徳川秀忠 は禁中並公家諸法度の、
「みだりに与えてはいけない。」違反として
勅許を無効とした。
う 幕府の法度 > 天皇の勅許 を
はっきりさせたという意義がある事件。
え 後水尾天皇、抗議の退位強行。
→ 明正 天皇 即位。元明天皇+元正天皇
母は和子皇后、徳川秀忠は 外祖父

※ 天皇の直轄領… 禁裏御料 という。
1万石→のちに3万石。

※ 陽成天皇は殺人犯。藤原 基経 により退位、
55 歳の光孝天皇を立てる。光孝、基経を関白に任命。